

7.5 広告 Advertising

媒体へは新聞や雑誌、webで編集広告と純広告を展開。F/Tでは新鮮な試みとなった新聞広告は堅実な顧客獲得手段となった。また交通広告に重点を置き、池袋駅を中心にビジュアル導線を展開、個々の作品の身体的な美しさ=舞台芸術固有の魅力を中心にビジュアルとセットで押し出すことでF/Tならではの祝祭感を創出した。屋外広告は主に各会場周辺に設置、華やかな池袋の街にモノトーンを投入することで特別感を出しインパクト効果を狙うとともに祭りの賑わいを醸成した。

The festival placed advertisements and advertorials in a range of media, including newspapers, magazines, and online publications. The newspaper advertisements were a new endeavor by the festival as part of its efforts to reach new audiences. The festival also focused on advertising on public transport, developing a visual line to Ikebukuro Station, and creating a festive atmosphere based around the main F/T graphic design and the physically attractive qualities of the performances as representative of the unique appeal of the performing arts. There was also outdoor advertising around the venues, with the monotone graphic look of the festival making a striking impression against the vibrant streets of Ikebukuro.

7.5.1 屋外広告 Outdoor Advertising

フラッグ、のぼり、柱巻き広告（東京芸術劇場、あうるすぽっと）
Flags, banners, column ads (Tokyo Metropolitan Theatre, Owlspot Theater)



7.5.2 交通広告 Public Transport Advertising

東京メトロビジョン、池袋駅構内B0・B1ポスター展開
Tokyo Metro subway in-car digital signage,
Ikebukuro Station B0/B1-size posters



7.5.3 媒体広告 Media Advertising

新聞:朝日新聞、読売新聞、東京新聞ほか
 Newspapers: Asahi Shimbun, Yomiuri Shimbun, Tokyo Shimbun, etc.
 雑誌・フリーペーパー:美術手帖ほか
 Magazines, Free Publications: Bijutsu Techo, etc.



FESTIVAL TOKYO 演劇を中心としたアートづくりの1か月

フェスティバル/トキョー

11月1日(土)~30日(日) 東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしがも創造舎、シアターグリーン、アサヒ・アートスクエア ほか

注目の公演

羅生門 藪の中

アンタレス・アキコ・デ・ラ・カサ・ド・ソシエ・シ・ブ・シ・ム(アルカサル・シ・ア・タール) [スペイン]、
 演出: 菅原浩司、美術: 日守新一、音楽: 菅原浩司
真実はどこにも。パレスチナと日本で探る芥川「藪の中」
 芥川龍之介の「羅生門」「藪の中」などを元にしたパレスチナと日本の気候ア
 ティストが現代でリアルなまなざしを原作
 の脈をとらえる。

11/5(木)~9日
 会場 あうるすぽっと (池袋)
 前売 3,500円 (全席自由、整理券有り)



春の祭典

演出: 菅原浩司、美術: 日守新一、音楽: 菅原浩司
西洋音楽の伝統を破った名作をさらに昇華
 複雑に変化するリズムや不協和音を使い西洋音楽の伝統を打破したバレエ
 音楽に、3人の若手女性アーティストが挑む。

11/12(水)~16日
 会場 東京芸術劇場
 プレイハウス (池袋)
 前売 3,500円 (全席指定)



動物紳士

演出: 出雲昌弘、美術: 菅原浩司、音楽: 菅原浩司
身体と美術が交錯する新しいダンス
 黒髪で躍動感、跳ね心、ユーモアを持つダンサー出雲昌弘が、気取った美術
 家・杉山道と100%の遊び心と100%のひたむきさをキーワードに共同制作。

11/15(土)~24(月) 休演日
 会場 シアターグリーン
 BOX in BOX THEATER (池袋)
 前売 3,000円 (全席自由、整理券有り)



ゴースト 2.0~イブセン「幽霊」より

演出: 菅原浩司 [中国]、演出: フランソワ
中国実験演劇の新世代が古典に挑戦
 ヘンリック・イブセンが1881年に発表した戯曲「幽霊」が題材。舞台での
 演技を撮影し、編集して映し出す「舞台映画」を使って上演される。

11/22(土)~24(月) 休演日
 会場 東京芸術劇場
 シアターイースト (池袋)
 前売 2,500円 (全席自由、整理券有り)



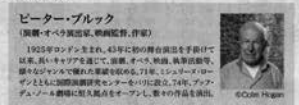
驚愕の谷

作: 濱田正樹、演出: マチエー・エー・エー・エー・エー [フランス]
 11/3(月) 休演日 18:00 11/4(火) 19:30
 11/5(水)・6(木) 15:00
 会場 東京芸術劇場 プレイハウス (池袋)
 前売 5,500円 (全席指定)



F/T14では、20世紀を代表する演出家であり、今もなお目覚ましい
 活躍を続けるピーター・ブルックの新作を上演。初来日を果たした
 「嵐の夜」から、近作の「ザ・スツ」まで、わずかな装置と小道具
 具、そして俳優たちの豊かな表現力によって、観客の想像力を最大限
 に引き出す作品は、日本でも幅広い人気を誇っている。

スラム神楽座演劇人・アックールの詩「鳥の言葉」を参照した舞台は、
 観客の意識ごとくへ連れて行くような、不思議な感覚を呼び覚ます。
 音楽を担当するのは、1970年代からブルックと活動をはじめとする土
 取利行。日本の古代音楽家も参照した東洋的な調べが、この作品の神
 秘の色を彩る。

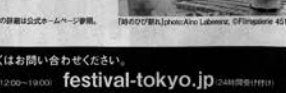


ピーター・ブルック (演劇・オペラ演出家、映画監督、作家)

痛いところを突くークリストフ・シュリンゲンジーフの社会的総合芸術

政治的・社会的アートに
 新しい領域を開いた作家をひもとく
 2010年に他界するまで、ヨーロッパのアート、演劇界で
 透徹したシュリンゲンジーフ、洗練された舞台やテレビ/ウェブ
 グで問題を露出した彼の仕事と軌跡を、新たに捉え直す。

11/18(火)~23(日) 休演日
 会場 東京芸術劇場
 シアターウエスト (池袋)
 前売 各回500円 (予約優先、当日満席)



ヘアチケットやセット券、学生割引チケットも発売中。詳しくはお問い合わせください。
 F/Tチケットセンター TEL03-5961-5209 festival-tokyo.jp (24時間受付可)
 ※料金はすべて税込。当日券は、500円。一部公演は、東京芸術劇場ボックスオフィス、チケットぴあ、eチケットでも発売中。

主催: フェスティバル/トキョー実行委員会、東京都、公益財団法人としき米澤文化財団、NPO法人アートサポートワーク・シマノ
 アーツカウンシル東京、フェスティバル/トキョー実行委員会、公益財団法人東京都歴史文化財団、平成26年度、文化庁地域文化芸術創造推進基金イニシアティブ
 お問い合わせ フェスティバル/トキョー実行委員会事務局 TEL03-5961-5202 festival-tokyo.jp